

# 若者が多世代に課題を話しやすくする仕組み 「ケイゾクトーク」仕様案 ver0.81

2020年 5月 28日  
ケイゾクエナジー 近藤大介

前回版(ver0.51)との違い：役回り「引き手」を「支え手」に統合。「回し手」を新設。  
それぞれの目線から、ご意見を賜れば幸いです。

# 1.背景と目的) 20世紀末との比較から

近藤が認識している変化を簡単にまとめます。

	1998~2000年頃	2020年現在
主な人生観	大企業社員や公務員は勝ち組。昭和に続き、 <b>組織人を礼賛</b> する空気が強い。	先進国になり過ぎた日本。勝ち組の認識が <b>多様化</b> 。例) 東大生の官僚離れ
情報発信手段	携帯電話、Eメール、ホームページ <b>マスコミなしに“個人”が繋がる</b>	スマホ、SNS、WordPress、動画投稿 <b>プロもアマも直接発信でファン囲い込み</b>
課題認識	環境) 自然 <b>保護</b> と公害の <b>阻止</b> 教育) グローバル人材の <b>育成</b>	環境) 自然資本の <b>適切な利用</b> 教育?) <b>自立的な成長の促進</b>

個人の自発性がより重要になってくる時代の流れに対し、様々な形で「対話の場」を提供してきました。

## 2.課題) 対話の場を催してきましたが・・・

- 1.様々な暴言（セクハラ、パワハラ）
- 2.無理矢理に自分の優位を示す、マウンティング行為  
→年長者としての緩みやコンプレックスがきっかけに。
- 3.協力的な態度を一切見せず、批判だけする  
→「何を言っても許されるだろう」と、ケイゾクエナジーや周囲に過剰な期待を寄せる年少者だった。

自由にすればするほど、発言意欲をつぶす言動が…  
近藤による半端に寛容な態度が原因？

### 3.原因) 実は、年齢や世代の壁？

先述の1.2.3.の態度は、いずれも近藤とは、明らかに先輩または後輩の立場をとられた方のものです。

年少者に偉ぶったり、逆に年長者に甘えたりするのは、自然な流れです。しかしながら、行き過ぎて「威張り」「怒り」や「媚び」になると、お互い疎遠になるのもまた当然です。心理学的には、怒りも媚びも、受けた側の困惑は似たようなものだといえます。

では、怒らず、媚びない「対話の場」にすればいい！

## 4.対策) 事前に役回りを明らかに

ところが「手放しに称賛はやめて」「怒らないで」などのルールでは、わざとらしかったりします。

また、行為規制だけだと、年齢の上下を意識した意見の押し付けや主張の抑制を、依然として続けてしまう人もいます。

**なら、年齢差を緩和する立場をお互い努めればいい？**

決められた役回りを果たせば、年齢の上下による不安を忘れられるのでは？・・・ちょっと考えてみました。

# 5-1. 役回り) リアル版

回し手以外の参加者で、役回りカードを引く。ただし、40歳以上は、話し手や回し手の依頼がない限り「支え手」に。

1ターン当たり30～40分程度、5分ほどの休憩で次へ。

役回り	役回りの概要	話題提供時 3～10分	対話の時間 20～30分	参加費設定
話し手	話題提供者	課題や想いを話す	1回の話は2分以内	無料(カンパ歓迎)
聞き手	一般参加者 話し手と同世代以下	聴く、時折質問	建設的にツッコむ。 <u>手放し称賛はNG</u>	話し手より10歳以上年少は、割引も
支え手	サポーター 話し手より一定年長	<u>聴くに徹する</u>	話題整理、関連情報の提示および質問が目的の発言に限定	話し手より10歳以上年長は、割増も
離れ手	オンライン参加	<u>聴くに徹する</u> 原則ミュート設定	回し手や話し手の判断で繋いで、意見を伺うことも。	ネット参加のため、基本的に無料
回し手(主催者)	ホスト タイムキーパー	話題設定の促し <u>聴くに徹する</u>	「支え手」同様だが、話の流れが止まった時は積極対応。	

## 5-2. 役回り) オンライン版 (zoomなど)

回し手の一人が、役回りカードを見せた上でシャッフル、回し手以外の参加者にカードを選ばせる。40歳以上は、話し手や回し手の依頼がない限り「支え手」に。1ターン当たり20～30分前後、5分ほどの休憩で次へ。

役回り	役回りの概要	話題提供時 2～5分	対話の時間 15～20分	参加費設定
話し手	話題提供者	課題や想いを話す	1回の話は2分以内	無料(カンパ歓迎)
聞き手	一般参加者 話し手と同世代以下	聴く、時折質問	建設的にツッコむ。 <u>手放し称賛はNG</u>	話し手より10歳以上年少は、割引も
支え手	サポーター 話し手より一定年長	<u>聴くに徹する</u> ミュート設定で開始	話題整理、関連情報の提示および質問が目的の発言に限定	話し手より10歳以上年長は、割増も
回し手(主催者)	ホスト タイムキーパー	話題設定の促し <u>聴くに徹する</u>	「支え手」同様だが、話の流れが止まった時は積極対応。	

# 6.想定) 話し手のテーマ別シミュレーション

テーマ	話し手の想定	話題提供の時間帯 話し手から	対話の時間帯 聞き手支え手から	関心がありそうな層
就活など 人生全般	~30歳、学生	どうありたいか、何をしたいか。	社会実例の提示、自己の失敗談など。	学生、人事関係者、経営者層、
SDGsなど 課題解決	全世代 <b>極論家お断り</b>	研究紹介、意見聴取のための自論開示	別の視点や、参考事例の提示など。	企業や行政の担当者、活動家、学生
ビジネス や企画案	全世代 <b>一部制限</b>	事業計画や企画案 ≡儲からない~会	改善案や協力表明、類例の提示	経営者層、投資家、活動家
家庭や恋愛	~50代			

## 7.その他) 後からでも考えられることなど

ペナルティ制度は必要？

→例) 10円単位で、何かに募金する

軌道に乗れば、会の「仕組み」を他にも提供へ

→名称は？ オープンソースにする？

SDGsゲーム企画(ソーシャルギルド主催)との連動

→事後の対話時間帯でのルールに適用

## 8.お願い) ご協力など

会への参加や運営ご支援について

→スタッフ（回し手）は、少なくとも参加費無料に

話し手（話題提供者）として

→何か、複数名と相談したい時にこの仕組みを。

他の会合や場での仕組み活用

→ブラッシュアップが先決ですが、他で活用の際は共催や、近藤などをスタッフ扱いにしてください。